

働き方改革を支える

操作ログを活用した新たな勤怠管理とは

本資料の目的

2019年4月より順次施行されている働き方改革関連法は、企業の規模を問わず、全ての企業が対象となります。これらの法令に適切に対応するためには、「労働時間の把握」が鍵となります。しかし、昨今の多様化した働き方に対応するためには、従来の勤怠管理システムだけでは実態を完全に把握することが難しいという課題が浮上しています。

本資料では、働き方改革に対応するための新しいアプローチとして、操作ログを活用した勤怠管理について詳しく解説します。操作ログを活用することで、従業員の実際の労働時間や業務の進行状況をより正確に把握することが可能となり、法令遵守だけでなく、労働環境の改善や生産性の向上にも寄与することが期待されます。これからの勤怠管理の在り方を見直し、より効果的な勤怠管理方法を実施するためのお役に立てれば幸いです。

「勤怠管理」とは従業員の就業状況を適切に把握し管理すること、目的は主に3つあります

正確な労働時間の把握



給与計算の基礎となるため、正確な労働時間の把握が必要です。給与計算を正しく算出できていない場合、従業員から未払い分の給与や残業代を請求されるリスクもあります。

従業員の健康を守る



勤怠管理を行うことで、長時間労働をしている従業員を把握し、健康被害が出る前に対策を検討できます。長時間労働は休職や退職、過労死に繋がることもあるため、従業員の健康を守るために勤怠管理は必要です。

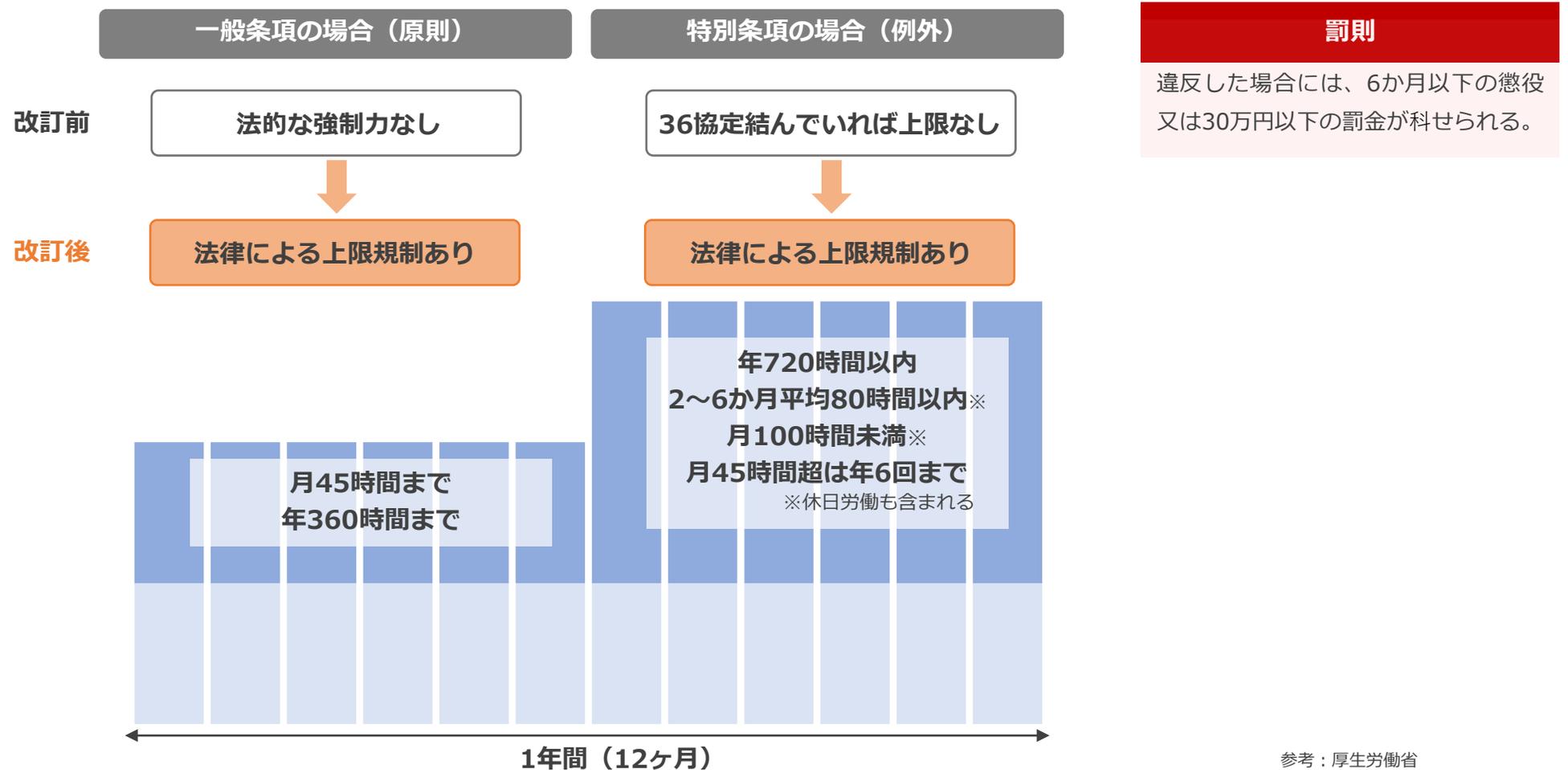
法令遵守



労働基準法などの法規制を遵守するためには、従業員の勤務状況を正確に把握しておく必要があります。法律では、労働時間や休憩時間、時間外労働時間などに関する規定が定められており、これを守るためにも勤怠管理が必要です。

適切な勤怠管理ができていないと法令違反になる場合も！？

働き方改革関連法案の改正により全業種で時間外労働の上限が厳格化
上限を超えて時間外労働や休日労働をさせると罰則が科せられます



従業員の始業・終業時刻を記録し労働時間を客観的な方法で把握することが必要です
労働時間の適正把握は働き方改革関連法案でも義務化されています

勤怠管理方法の例

タイムカード



勤怠システム



IC カード



出勤簿



オフィス、自宅、外出先など働く場所や自社の働き方にあった方法で行うのがおすすめです

自社にあった勤怠管理方法で始業・終業時刻を記録できるようになっても
テレワークなど働き方の多様化により適切に働いているのか見えにくい部分が増えている

テレワーク時の勤務状況



実際に勤務しているかを物理的に確認することが困難なため、打刻記録だけでは本当に勤務しているかの実態を把握できない。

勤怠時間の改ざん



代理打刻や改ざんなどの打刻時間を変更したり、他者に代理打刻してもらって勤務時間を不正に申請。

サービス残業



申請をせずに業務を続けたり、残業申請時刻後もそのまま業務を続けたりすると実際の残業時間と乖離が発生。サービス残業が発生しないよう、正確な労働時間の把握が必要。

厚生労働省のガイドラインでも PC の使用時間を労働時間の適正な記録として利用するよう推奨
PC の操作ログを利用すれば、始業・就業時刻を客観的なデータとして取得できます

[労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置]

(1) 原則的な方法

使用者は、労働者の労働日ごとの始業・終業時刻を確認し、適正に記録すること

- ・使用者が、自ら現認することにより確認すること
- ・タイムカード、ICカード、パソコンの使用時間の記録等の客観的な記録を基礎として確認し、適正に記録すること

(2) やむを得ず自己申告制で労働時間を把握する場合

- ①自己申告を行う労働者や、労働時間を管理する者に対しても自己申告制の適正な運用等ガイドラインに基づく措置等について、十分な説明を行うこと
- ②自己申告により把握した労働時間と、入退場記録やパソコンの使用時間等から把握した在社時間との間に著しい乖離がある場合には実態調査を実施し、所要の労働時間の補正をすること

勤怠管理システム上の勤怠（打刻）時間と実際の労働時間に乖離が無いかな？
IT 資産管理ツールの操作ログ活用で解決

従来の勤怠管理

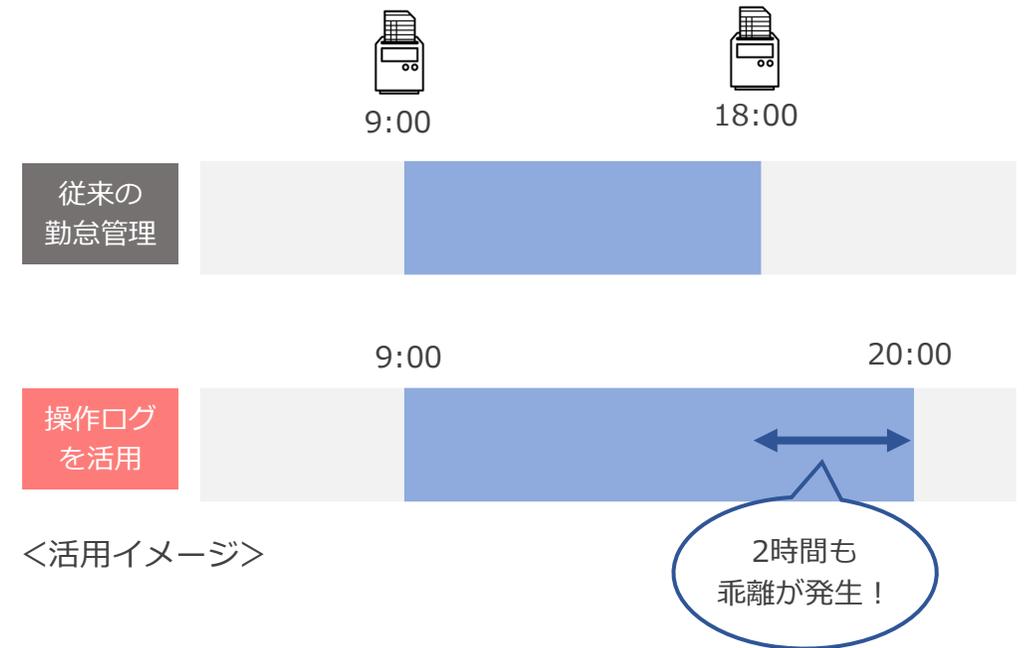
勤怠管理システムなど
を利用した勤怠管理



+

操作ログを活用

勤怠（打刻）時間と実際の
労働時間の乖離をチェック



LANSCOPE エンドポイントマネージャー クラウド版で支援する勤怠管理

PC・スマホ・タブレットの一元管理をクラウドで実現

「使いやすい」管理コンソールで、充実の「IT 資産管理機能」と「MDM 機能」を実装

IT review 顧客評価No.1※

使いやすい管理コンソール

充実の PC 管理

操作ログ・セキュリティ

PC 管理に必要な機能を網羅

Apple・Google の認定プログラム対応

充実の「モバイル管理」



エンドポイントマネージャー クラウド版で取得した操作ログを利用して、 勤怠時間との差分チェックに活用できます

01 | 資産管理

Windows

macOS

デバイスのハードウェア情報／設定情報を自動取得し、IT 資産台帳として活用できます。自動取得できない項目は任意項目として管理できるほか、プリンターやルーターなどエージェントがインストールできない機器もまとめて管理できます。

02 | セキュリティ

Windows

macOS

OS によって必要なセキュリティ対策は異なります。Windows のアップデート管理や記録メディア制御、macOS のシステム利用制御、ドライブ・ディスク暗号化の運用に必要な機能をエンドポイントマネージャーで提供します。

03 | 操作ログ

Windows

macOS

内部情報漏洩対策として欠かせない PC の操作ログを自動取得します。取得したログは最大5年分の保存が可能です。また、働き方の見える化を実現するレポートを自動作成し、従業員のマネジメントにも活用できます。



「どの部署の」「誰が」「いつ」「何をしたのか」をリアルタイムに取得

取得した操作ログは2年間保存され、検索によるログの抽出と CSV ファイルによる出力が可能。ログ運用オプションの導入で最大5年保存されます。

The screenshot shows the LANSCOPE log management interface. The main table lists operations with columns for time, user, log type, event, title, and file path. Two alert pop-ups are overlaid on the table:

- ファイル操作アラート**: 実行したファイル操作は、社内ルールに違反しています。 [抵触時のファイル名] 2020/08/18 14:22:23
- アプリケーション禁止**: 起動しようとしたアプリケーションは、社内ルールによって禁止されています。 [抵触時のアプリ] 2020/08/18 14:27:25

違反操作があった場合は、リアルタイムに警告通知が可能

取得できる操作ログ

ログオン・ログオフログ

電源ON・OFF・ログオン・ログオフのログを取得できます。

ウィンドウタイトルログ

デバイス上での閲覧画面（ウィンドウタイトル・アプリ名）のログを取得できます。

ファイル操作ログ

デバイス上でのファイル操作（ファイル・フォルダのコピー／移動／作成／上書き／削除／名前の変更）でのログを取得できます。

Web アクセスログ※1

Webサイトの閲覧、Webメールやクラウドストレージのアップロード／ダウンロードログを取得できます。

プリントログ

印刷状況を記録し、ドキュメントやプリンター、PCごとに印刷枚数を集計できます。

周辺機器・通信機器接続ログ※2

USB メモリなどの周辺機器、Wi-Fi・Bluetooth などへの接続／切断などのログを取得できます。

アプリ稼働・アプリ通信ログ※3

バックグラウンドで稼働しているアプリ情報、通信元／先のIPアドレスやポート番号、アプリのハッシュ値を取得できます。

※1 macOS は Web サイトの閲覧ログのみ対応しています。また対応ブラウザは Microsoft Edge・Google Chrome・FireFox・Safari です。

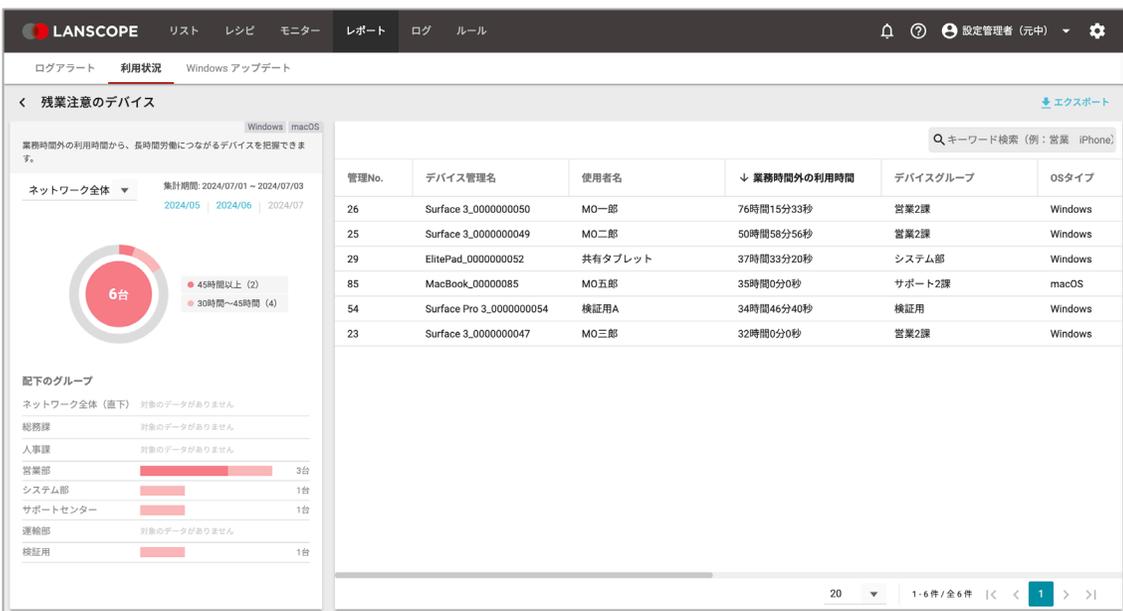
※2 macOS は周辺機器接続ログのみ対応しています。

※3 外部脅威調査オプションの導入が必要です。尚、macOS は非対応です。

管理コンソールのレポートを活用 / 活動時間 API を活用する方法の2種類をご用意

管理コンソールのレポートを活用

PC の利用状況を把握できるレポートから、従業員の勤務状況が見える化。管理コンソールの権限分散にも対応しているため、「営業部の責任者には営業メンバーのレポートのみ閲覧させる」などの運用が可能。



活動時間 API を活用

1日の最初と最後の操作ログ（ウィンドウタイトルログ）を取得できる API を公開。CSV ファイルへの出力・勤怠管理システムのデータとの突合などを効率的に行えます。

LANSCOPE エンドポイントマネージャー クラウド版 API ドキュメント 1.0.0 CAS 3.0

本ドキュメントは、LANSCOPE エンドポイントマネージャー クラウド版 API を利用する開発者向けのドキュメントです。

API 実行方法

APIリクエストは、APIトークンを使用してhttpsで行う必要があります。APIトークンは、以下の形でHTTPリクエストヘッダに指定します。

APIのベースURLは、<https://api.lanscope.com/v1/> です。

例えば、IT資産情報取得APIを実行する場合は、<https://api.lanscope.com/v1/asset-info> になります。

実行回数制限

1日あたり3,000リクエスト(※)までとなっています。実行回数制限を超えて、APIを実行すると、429のレスポンスが返されます。※ 実行回数制限の仕様は変更する可能性があります。

ページネーション

レスポンスに含まれるデータが大量になる場合、一定件数で打ち切られ、データと合わせて `next_token` を返します。打ち切りとなる件数はエンドポイントごとに異なります。レスポンスで `next_token` が返された場合には、その値をリクエストパラメータとして指定して、次のページを取得できます。

この時、`next_token` 以外のリクエストパラメータは、前回の

業務時間外の利用時間が多いデバイスをランキング形式で表示 1Click でデバイス単位のレポートで詳細を確認

▼ 業務時間外の利用が多いデバイスを一覧で表示

LANSCOPE リスト レンビ モニター レポート ログ ルール

ログアラート 利用状況 Windows アップデート

残業注意のデバイス

ネットワーク全体 集計期間: 2024/07/01 ~ 2024/07/03

管理No.	デバイス管理名	使用者名	↓ 業務時間外の利用時間	デバイスグループ	OSタイプ
26	Surface 3_0000000050	MO一郎	76時間15分33秒	営業2課	Windows
25	Surface 3_0000000049	MO二郎	50時間58分56秒	営業2課	Windows
29	ElitePad_0000000052	共有タブレット	37時間33分20秒	システム部	Windows
85	MacBook_0000000085	MO五郎	35時間0分0秒	サポート2課	macOS
54	Surface Pro 3_0000000054	検証用A	34時間46分40秒	検証用	Windows
23	Surface 3_0000000047	MO三郎	32時間0分0秒	営業2課	Windows

6台

- 45時間以上 (2)
- 30時間~45時間 (4)

配下のグループ

- ネットワーク全体 (直下) 対象のデータがありません
- 総務課 対象のデータがありません
- 人事課 対象のデータがありません
- 営業部
- システム部
- サポートセンター
- 運輸部 対象のデータがありません
- 検証用

使用者名	↓ 業務時間外の利用時間
MO一郎	76時間15分33秒
MO二郎	50時間58分56秒
共有タブレット	37時間33分20秒
MO五郎	35時間0分0秒
検証用A	34時間46分40秒
MO三郎	32時間0分0秒

1-6件 / 全6件

▼ デバイス単位のレポート

Windows Surface 3_0000000050 - デバイス詳細

デバイスグループ: 営業2課 使用者名: MO一郎 電話番号: 090xxxxxxx ログオンユーザー名: ichiro.mo 最終稼働: 5時間前

管理情報 2024/05 2024/06 2024/07 集計期間: 2024/07/01 ~ 2024/07/03

業務時間外の利用状況

業務時間外の利用状況を、深夜・休日の長時間労働の有無や適切な勤務間インターバルが取れているかを把握できます。

日付	業務時間内	業務時間外	放置時間
2024/07/01 (月)	18時間43分	76時間15分	25時間16分
2024/07/02 (火)	18時間43分	76時間15分	25時間16分
2024/07/03 (水)	18時間43分	76時間15分	25時間16分
2024/07/04 (木)	18時間43分	76時間15分	25時間16分
2024/07/05 (金)	18時間43分	76時間15分	25時間16分
2024/07/06 (土)	18時間43分	76時間15分	25時間16分
2024/07/07 (日)	18時間43分	76時間15分	25時間16分
2024/07/08 (月)	18時間43分	76時間15分	25時間16分
2024/07/09 (火)	18時間43分	76時間15分	25時間16分

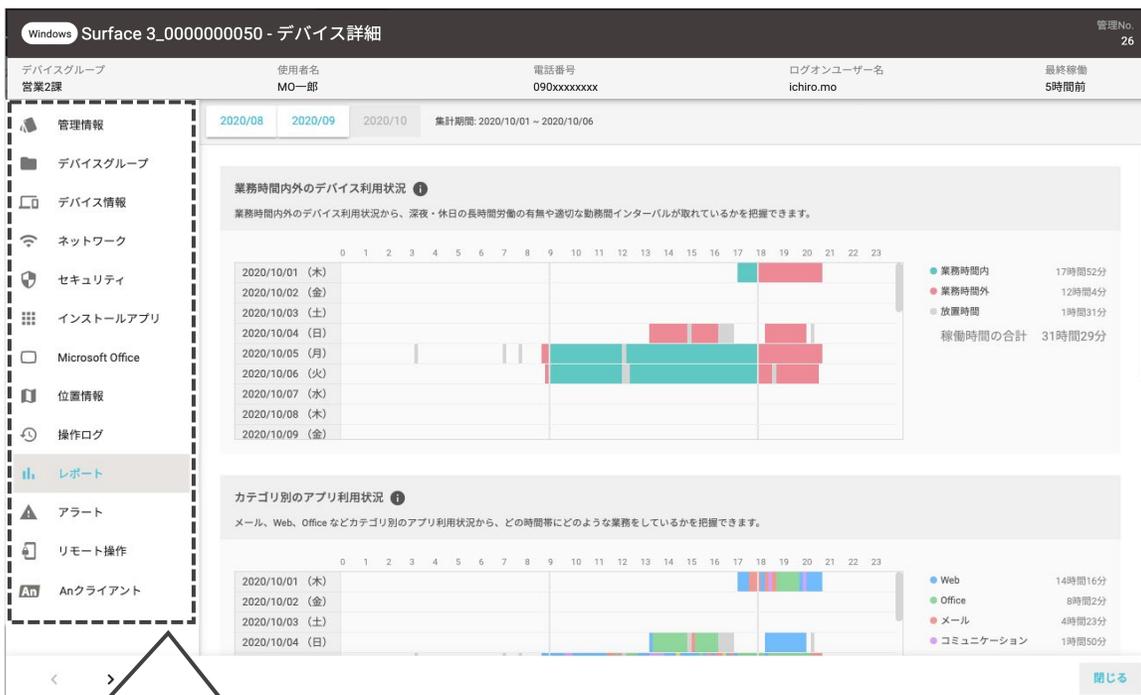
業務時間内 185時間43分
業務時間外 76時間15分
稼働時間の合計 287時間16分

Web 134時間11分
Office 79時間45分
コミュニケーション 33時間6分
放置時間 24時間32分
その他のアプリ 16時間36分
エクスペローラ 4時間50分
メール 1時間41分
稼働時間の合計 294時間3分

業務時間外の利用を赤色で表示
時間外利用を一目で把握

「営業部のマネージャーには、営業部のデバイス情報を確認できる」権限を付与するなど柔軟な設定が可能！

● システム管理者向け



全ての情報の確認や
リモート操作の実行ができる

● 営業マネージャー向け



詳細な操作ログの確認や
位置情報、リモート操作などは
実行できない

1日の最初と最後の操作ログを、API を活用して CSV ファイルで出力
操作ログのデータと勤怠管理システム側のデータ突合を効率化



👉 活動時間 API の活用資料

活動時間 API の活用方法や CSV ファイルの出力方法について、まとめた補足資料もご用意しています。

Endpoint Manager Cloud

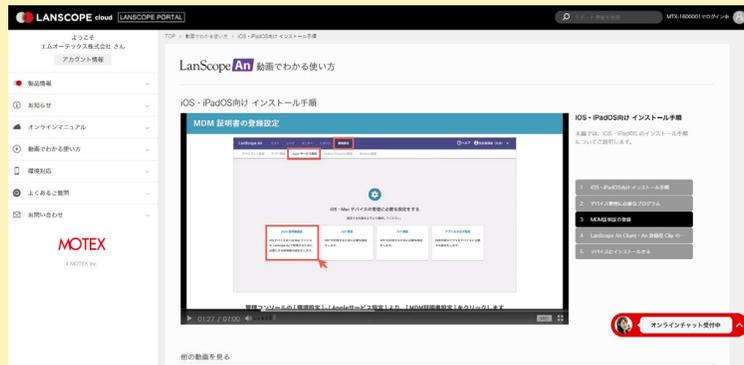
60日間無料体験キャンペーン中

エンドポイントマネージャー クラウド版の体験版は、設定したポリシーや取得した情報を含め、そのまま製品版へのデータ引き継ぎが可能です。また体験版利用中も、弊社サポートセンターにお電話やメールで問い合わせが可能。体験期間中は、マニュアルやオンラインで学べるトレーニング動画も公開しています。

●各種マニュアル・問い合わせが可能



●動画で設定方法を説明



<https://go.motex.co.jp/l/320351/2017-06-21/c55z>



本資料に関するお問い合わせ

- マーケティング本部
プロダクトマーケティング部
E-mail product@motex.co.jp

ご導入後の製品利用に関するお問い合わせ

- サポートセンター 0120-968995（携帯・PHSからは06-6308-8981）
お電話受付時間 9:30～12:00/13:00～17:30（平日、祝祭日除く）
Email お問い合わせ support@motex.co.jp